

Sokendai Review of Cultural and Social Studies
総研大文化科学研究



第8号 | 平成24年3月

総合研究大学院大学 文化科学研究科 発行

総研大文化科学研究

第八号

(平成二十四年三月)

総研大文化科学研究 第八号

〈論文〉

『枕草子』における漢語の表現

—「三条の宮におはしますころ」の章段を中心に—

張 培華

1

近世期における「正成の妻」像の変容

李 忠澁

27

芭蕉における『本朝一人一首』の受容

—『嵯峨日記』・『おくのほそ道』を中心に—

陳 可冉

43

橘曙覧「独楽吟」の表現形式と漢詩受容の可能性

—邵雍「首尾吟」との関係をめぐる—

王 曉瑞

57

〈論文〉

社会変動を超越する技法

—エチオピア南部牧畜民ボラナの口頭年代史における

予言者に関する語りを中心に焦点をあてて—

大場 千景

75

徳宏タイ族社会の「うた」の職能者

—文脈の変化に関する考察—

伊藤 悟

99

モノに執着しないという幻想

—モンゴルの遊牧世界におけるモノをめぐる攻防—

堀田あゆみ

117

1949年以前の同姓団体の生成と現在の再興

—福建省南部の事例研究—

陳 夏晗

137

ブルガリアのポスト社会主義期におけるヨーグルトの表象

—トラン地域の博物館展示を事例として—

マリア・ヨトヴァ

159

自然葬の誕生

—近代日本的価値の拒否—

金セツピヨル

177

副葬品配列からみた武器の価値

—軍事組織復元の可能性—

藤原 哲

195